

幸福とは

五泉市川内 永谷寺副住 吉原 東玄
平成三十年四月二十三日（月）

一切の生きとし生けるものは幸せであれ

『スツタニパータ』第一四七句

究極の理想に通じた人が、この平安の境地に達してなすべきことは、次のとおりである。能力あり、直く、正しく、柔和で、思い上ることのなり者であらねばならぬ。足ることを知り、わずかの食物で暮らし、雑務少なく、生活もまた簡素であり、諸々の感官が静まり、聡明で、高ぶることなく、諸々の（ひとの）家で食ることがない。

一切の生きとし生けるものは、幸福であれ、安穩であれ、安樂であれ。いかなる生物生類であつても、怯えているものでも強剛なものでも、悉（ことごと）く、長いものでも、大きなものでも、中くらしいものでも、短いものでも、微細なものでも、粗大なものでも、目に見えるものでも、見えないものでも、遠くに住むものでも、近くに住むものも、すでに生まれたものでも、これから生まれようと欲するものでも、一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。

「ブツダのことば スツタニパータ」（中村元訳）